



# OBIHIRO ROTARY CLUB DISTRICT 2500

会長 工藤 大輔

方針「Merry Rotary!」-ロータリーで盛り上がる!-

No.3504

第3822回例会  
令和6年4月3日

2023-24年度国際ロータリーのテーマ 世界に希望を生み出そう

## ■会長報告



工藤 大輔 会長  
みなさん、こんにちは。ロータリーの特別月間、4月は「環境月間」です。

2022年RI理事会10月に決定された新しい重点分野の1つです。

天然資源の保全と保護を強化し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援する月間としました。



過去5年間、財団のグローバル補助金では、1800万ドル以上が環境に関連したプロジェクトに充てられてきました。環境を支援する別個の重点分野を設定することで、ロータリアンが世界中の地域社会で好ましい変化をもたらし、より大きなインパクトを生み出す一助となります。

ここに地球を守るロータリーの取り組みを列挙しましたが、そのうち「気候変動の影響を受ける生態系と地域社会の強化」についての事例を紹介したいと思います。

「消えゆくオオカバマダラ生息地の復元を誓う」ということで毎年、数百万頭のオオカバマダラがカナダ南部とアメリカ北部の

一部から4800kmも移動して、メキシコシティ郊外の森林地帯で越冬していますが、激減している



激減しているようです。

これの何が問題かというと、オオカバマダラやその他の花粉媒介者と呼ばれる昆虫が減ること

で私たちの生活に悪影響が出るのです。世界の植物種の75%は、花粉媒介者に依存して生きていて、花粉媒介者の助けがなければ、食料の30%が消えてしまうだろうと

言われています。近代農業によるトウモロコシや大豆の栽培、気候変動、農場や住宅・商業地での農業使用、都市のスプロール現象などによる生息地の減少を食い止めるため、関係地域のロータリークラブが関係機関と取り組もうというものです。

近代農業によるトウモロコシや大豆の栽培、気候変動、農場や住宅・商業地での農業使用、都市のスプロール現象などによる生息地の減少を食い止めるため、関係地域のロータリークラブが関係機関と取り組もうというものです。

この話はスケールの大きなプロジェクトですが、その流れで見つけたのが、京都東RCが実施している「京都東みつばちプロジェクト」です。

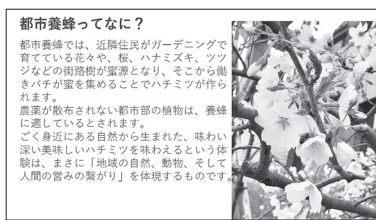
京都市左京区、平安神宮の大鳥居の近くのビル屋上でみつばちの飼育を始めました。



都市養蜂で「自然+コミュニティ」のスタイルを  
京都東みつばちプロジェクト (Kyoto-East NICO HONEY PROJECT)

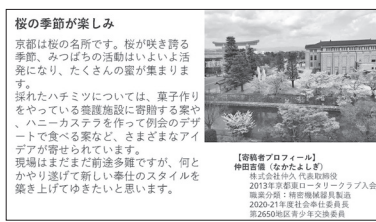
平安神宮のすぐ近くで  
京都市左京区に位置する岡崎地区は、平安神宮、京都国立近代美術館、京都動物園、コンサートホールなどが集まる京都の文化ゾーン。平安神宮の大鳥居を間近に臨むビルの屋上で、みつばちの飼育を始めました。かねてから都市養蜂に関心があり、都市養蜂家のネットワークを有する森田会長がアイディアでした。

2020年2月に準備を始めるときは、巣箱の場所探しに大変苦労しましたが、クラブ会員の会社ビルの屋上を譲り受けました。トントン詰りで巣箱の設置へと進みました。どうにもできそうにないことも、メンバーが集えば実現できてしまうのがロータリーのパワーです。



都市養蜂ってなに?  
都市養蜂は、近隣住民がガーデニングで育てている花々や、桜、ハナミズキ、ツツジなどの街路樹が蜜源となり、そこから働きバチが蜜を集めることでハチミツが作られます。農薬が散布されない都市部の植物は、養蜂に適しています。ごく身近にある自然から生まれた、味わい深い美味しいハチミツを味わえるという体験は、まさに「地域の自然、動物、そして人間の営みの繋がり」を体現するものです。

養蜂はハチミツを採ることが目的ですが、それには年間を通して巣箱をチェックするなど適切な対応が必要となります。その時々気温や外敵の状況を見つつ、季節の移り変わりや植物の成長、そして生き物とのつながりを紡ぎます。そんな体験を街中で実施し、その努力の結晶であるハチミツを地域のみなさんと共に味わえる都市養蜂は、地域コミュニティを活性化させる素晴らしい活動です。



桜の季節が楽しみ  
京都は桜の名所です。桜が咲き誇る季節、みつばちの活動はいよいよ活発になり、たくさんの蜜が集まります。採れたハチミツについては、菓子作りをやっている養護施設に寄贈する案や、ハニーカステラを作って例会のデザートで食べる案など、さまざまなアイデアが寄せられています。現場はまだまだ前途多難ですが、何とかやり遂げて新しい奉仕のスタイルを築き上げていきたいと思っています、とのことでした。



以上 会長報告でした、  
本日もよろしくお願ひいたします。

都市養蜂では、近隣住民がガーデニングで育てている花々や、桜、ハナミズキ、ツツジなどの街路樹が蜜源となり、そこから働きバチが蜜を集めることでハチミツが作られます。

農薬が散布されない都市部の植物は、養蜂に適しているとされます。

味わい深い美味しいハチミツを味わえるという体験は、「地域の自然、動物、そして人間の営みの繋がり」を体現するものです。

養蜂はハチミツを採ることが目的ですが、それには年間を通して巣箱をチェックするなど適切な対応が必要となります。その時々気温や外敵の状況を見つつ、季節の移り変わりや植物の成長、そして生き物とのつながりを感じます。

そんな体験を街中で実施し、その努力の結晶であるハチミツを地域の人たちと共に味わえる都市養蜂は、地域コミュニティを活性化させる素晴らしい活動と言えます。

京都東RCとのご縁は、1976年から84年まで8年間、帯広RCに在籍されました

帯広畜産大学元学長の西川義正会員のご尽力により、今から43年前の1981年3月23日に

友好クラブの締結をしたことに始まります。

帯広クラブ創立90周年、そして京都東RCの70周年と交流が近づくといいこともあり紹介いたしました。

以上、会長報告とさせていただきます。  
本日もよろしくお願ひいたします。

## ■ビジター紹介

RI第2500地区 米山記念奨学生 クンルオン,シーリン 様

## ■プログラム

(出席委員会)

### 「気軽にメーカーキャップ出来るEロータリーの例会を体験」



ロータリークラブの醍醐味は、例会を通して様々な会員との出会いや交流が生まれることです。

そして、例会出席は、ロータリークラブ正会員の最も基本的な義務です。なぜなら、例会は会員同士が心を開いて大いに経験を語り合い、意見や情報を交換し、互いの人柄に触れ、敬愛の念を深め、自己の研鑽と奉仕の心を高めながら、それらを価値ある奉仕につなげるための大切な機会だからです。欠席すれば、大切な成長の機会を自ら逸することになります。しかも、他の会員が成長する機会を奪ったことにもなるのです。

出席率は、クラブの活気を示す一つの指標と言えます。

そして、メイクアップは他のロータリークラブや、例会以外のロータリー活動に参加することで出席を補填できる仕組みです。

忙しくて例会に出席できなかった場合でも、メイクアップをすることで出席にカウントされ、出席の義務を果たしたことになります。

他のクラブや、ロータリー活動に参加することで広げた人脈や知見を活かし、クラブ活動に還元することで、さらなるクラブ活動の発展に貢献できます。

今回の例会では、日本Eロータリークラブ2650 第442回例会(2022-23年度 第13回例会)のアーカイブを、実際の参加と同じ方法で視聴して、Eクラブでのメイクアップの方法を学びながら、北海道から離れた地域のロータリーの様子を感じる機会にしました。

このEクラブは、例会の中で奉仕の意識を強く持っている様子をうかがうことができます。ロータリアンとしてとても新鮮な気持ちにさせてくれる例会を体験していただけたのではないかと思います。

例会の卓話は、木川剛志監督「映画『Yokosuka1953』撮影秘話と日本における観光映像の取り組み」です。

卓話の内容もとても興味深く学びのある内容です。例会に参加できなかった方も、下記URLより視聴できますので、ぜひご覧ください。 <https://rotaryclub2650japan.org/reikaikiji/10123>



## ■会務報告

猿川 陽介 幹事

### ①帯広RC、次年度第1回クラブ協議会開催のご案内

日時 4月3日(水)午後7時

場所 ホテル日航ノースランド帯広

出席対象者 次年度理事・役員・委員長

### ②帯広南RC、4月8日(月)の例会は、休会と致します。

### ③帯広南RC、移動例会開催のご案内

日時 4月15日(月)午前11時

場所 帯広簡易裁判所

### ④帯広西RC、移動例会開催のご案内

日時 4月18日(木)午前11時30分

場所 陸上自衛隊帯広駐屯地

### ⑤帯広南RC、夜間例会開催のご案内(創立記念例会)

日時 4月22日(月)午後6時30分

場所 ホテル日航ノースランド帯広

### ⑥帯広北・帯広東・音更、3RC合同例会開催のご案内(十勝ロータリー奨学会支給式)

日時 4月24日(水)午後6時30分

場所 ホテル日航ノースランド帯広

※帯広東RC、4月23日(火)の繰下げ例会と致します。

帯広北RC、4月26日(金)の繰上げ例会と致します。

## 【委員会報告】

### 【ニコニコ献金】

(親睦活動委員)

<河村 知明 会員> 本日例会を担当させていただきます。

### <誕生記念日祝(4月)>

五十嵐聖二 会員

### <配偶者様お誕生記念日祝(4月)>

千葉 直樹 会員 溝口 善昭 会員

### <結婚記念日祝(4月)>

小沢 昌博 会員 小白 智志 会員 竹川 博之 会員



## 【4月誕生祝】

4月生まれのみなさん、お誕生日おめでとうございます。とあるネットアンケートの「4月と言えば」ランキング第4位は、今年はまだ終わってしまいましたがエイプリルフールだそうです。

エイプリルフールの起源は諸説あるようですが、16世紀半ばのフランスとイタリアで暦が変わる際、新年が4月1日から1月1日となったことに納得しない人々を揶揄したり、騒ぎを起こしたことから始まったとされています。

「嘘をついてからかう」習慣が日本に伝わったのは大正時代、エイプリルフールは直訳され、今はあまり聞きませんが「4月バカ」と呼ばれていました。

最近ですとニオイ消しのモンダミンからニンニク味の発売、「口をゆすぐとニンニクの香りが口いっぱいに広がる」と公式ツイッターに投稿し話題になりました。

この「エイプリルフール」が広まる前の江戸時代、日本では4月1日は「不義理の日」だったそうです。日頃ご無沙汰している人に連絡をして不義理を詫げる日だったそうです。人をからかって楽しむよりこちらの方が日本人らしい習慣かもしれません。

義理がたい4月生まれの皆さんにロータリーの仲間を繋げていただき、ロータリーで盛り上がりましょう!

それでは「おめでとうございます」で乾杯します。

## ■米山奨学生カウンセラー委嘱状授与



## ■出席報告

会員総数:85名(内 免除会員1名)

出席者数:55名(内 免除会員0名 内zoom参加者2名)

本日の出席率:64.7%

## ■4月プログラム予定

4月10日(水)「これだけは知っておきたい『ロータリーの基礎』」

(ロータリー情報・記録保存委員会)

4月17日(水)「会員卓話」佐藤幸宏 会員

(プログラム委員会)

4月24日(水)「帯広RCの歴史と伝統」

(中長期ビジョン委員会)



↑携帯サイトが  
できました。  
バーコードリー  
ダーで読み込む  
事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30

例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日 ●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日

●事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行 / クラブ広報

●委員長 / 花岡寿美代 副委員長 / 渡辺喜代美・荒井 純一

委員 / 石神 美代・櫻井 博一・千葉 直樹・三谷 郁央

●ホームページアドレス <http://www.obihiro-rc.jp>

